

2026 年 10 月 13 日

環境省の大規模実証プロジェクトに採択！

東京海上アセット、海藻養殖による「大規模ブルーカーボン事業」を始動

～鎌倉から全国へ、経済性と環境保全を両立する

日本発のネイチャーファイナンススキーム確立へ～

東京海上アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：長澤 和哉、以下「TMAM」）は、環境省が公募した「ブルーカーボン等の吸収源対策に係る大規模実証プロジェクトの立上げ等実施事業」において、事業主体として正式に採択されたことをお知らせいたします。

環境省 報道発表：[ブルーカーボン等の吸収源対策に係る大規模実証プロジェクトの立上げ等実施事業（補助事業）の二次公募採択結果について](#) | [報道発表資料](#) | [環境省](#)

本プロジェクトでは、TMAM がこれまで培ってきた藻場再生のノウハウを結集し、効率的な海藻養殖と CO2 吸収（クレジット創出）の大規模化に挑みます。さらに、収益性を伴った持続可能な「ネイチャーファイナンススキーム」を国内で確立することを目指します。

■ 背景

これまで TMAM は、石垣島、松江、鎌倉など国内の様々な地域で、地域の漁業者や関係自治体と深く連携しながら、民間企業の資金や技術を活用した天然藻場の再生に取り組んできました。その一環として、石垣島でのプロジェクトにおいては、すでに JBE が認証する「J ブルークレジット」（※）を取得するなどの実績を上げています。

今回の環境省による採択を受け、これまでに構築したノウハウや地域とのリレーションを最大限に活かし、より大規模な海藻養殖を通じたブルーカーボン事業の社会実装と、その検証を本格的に進めてまいります。

（※）JBE（ジャパンブルーエコノミー協議会）が認証するブルーカーボン・クレジット。

■ 今回の取り組みの内容

本プロジェクトは、まず鎌倉沖の海域から検証をスタートし、将来的には段階的に全国の海域へと展開する計画です。規模の拡大に合わせ、新たなファイナンススキームの検討も並行して進めてまいります。

1. 炭素吸収の最大化（多段階式養殖）

通常のアロエ養殖をさらに発展させた「多段階式海藻養殖」を導入します。これにより、単位面積あたりの養殖量と CO2 吸収量を効率的に最大化できるかを検証します。

2. 経済合理性の追求（海藻の利活用）

育てた海藻の一部を資源として利活用し、プロジェクト自体の収益性を高めることで、持続可能なビジネスモデルを構築します。

■ **目指す姿：環境と経済が循環する「新しい金融」のパイオニアへ**

地球温暖化対策として「海の生態系が吸収する炭素（ブルーカーボン）」への注目が世界中で高まる一方、その普及においては「大規模化」と「資金循環（経済合理性）」の確立が世界的な課題となっています。TMAM は本プロジェクトを通じて、大規模な海藻養殖を伴うブルーカーボン事業が確かな経済価値を生み出す仕組みを実証します。これにより、民間資金が流れ込む日本発の「ネイチャーファイナンス」を確立し、海の環境再生と持続可能な経済成長を両立させる先駆者として、脱炭素社会の新たな未来を切り拓いてまいります。

《東京海上アセットマネジメントのサステナビリティ》

TMAM はこれらの取組みを通じて、金融の力を使い海洋や森林、農業などの分野で脱炭素と生物多様性保全の推進に貢献することを目指します。また、東京海上グループを始め様々な企業や地域との連携や未来世代への教育を通じて日本経済の発展に貢献してまいります。

■ **お問い合わせ**

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

東京海上アセットマネジメント株式会社

当事業担当：岡田

TEL：03-3212-8301

E-mail：esg_info@tokiomarineam.co.jp

以上